

coba作曲 長久手応援ソング 誕生秘話 &

そしてこれからどう歩む

長久手市文化の家 事業係 生田 創

2011年7月、長久手市制記念公演として、cobaさんの名前があげられました。当初、所属事務所は「近年、cobaは仕事をかなり限っている」との話でしたが交渉の結果OKが出ました。半年が経った2012年3月、cobaさんから「長久手の歌をつくりたい。歌詞は

公募（市民対象）で、合唱隊も募集してほしい」とお話が来しました。これには驚きました。なぜなら、cobaさんはドラマやCMなどに数え切れないほど楽曲を提供していて、ギャランティはとんでもない額だと聞いていたからです。この費用を上乘せせずに書き下ろすというのです。早速内部で調整を重ね「長久手応援ソング」という名称に決定しました。歌詞のテーマは「絆」「長久手に関すること」、選定はcobaさんと市長が行う、合唱隊は若男女100名の市民を集める、など急ピッチで具体化が進んでいきました。

4月初旬、cobaさんが打ち合わせのため長久手へやってきました。マネージャーさん曰く、車で藤が丘から長久手への道すがら、cobaさんは身を乗り出して「この道は自転車がよく走った！」「昔ここにはこんな店があった！」さらには「長久手高校も見たい！」と言

出し、車を止めて学校の中へ歩いて行ってしまったそうです。そのとき、cobaさんはかなり興奮していたとのこと。市長との面談後、あぐりん村でどっさり野菜を

買いつ込み、打ち合わせやマスコミ取材を終え帰途につかれました。歌詞は100を越える応募がありました。選定にあたって、市長は「どれもいいんだよなあ」と選定が困難な様子で、結局最終的な判断はcobaさんに委ねられました。

6月に入り、期待と不安のなか一枚のデモCDが届きました。そして、マネージャーさんの一言で衝撃を受けました。「4曲あります。ライブで披露した後、長久手市全体で人気投票をしてほしい、と言っています」。

軽い目眩を感じながらも、もう一人の担当であった佐藤とデモCDをおさるおさるの再生すると、流れてきたのは、coba自身が歌う、市民の歌詞と完全に一体化した、生まれたての作品たち。ほどなく涙が溢れてきました。そして、確信しました。

—cobaさんは天才である—と。

公演の一週間後には、文化の家ホームページで応援ソングの試聴と投票ができることになりました。約3カ月間にわたり人気投票が行われ、6000を越える投票から「クレーシガーナ」が一番人気となりました。

みなさんからよく訊ねられることは「ほかの曲はどうなるの？」という質問です。cobaさんは言います「応援ソングは、長久手市のみなさんのものです。どのように愛していただくかは、お任せします」。

実は、人気投票は一人でも多くの方々に歌を知っていただくためのものだったので。そのなかで応援ソングを広めるための動きが自発的に始まりました。まだまだ小規模ですが、きっとcobaさんにとって何より大きな宝物だと思われたに違いありません。

その証として、応援ソングに振付をつける提案をされたことは先回のコラムで書かせていただきました。

歌は、日々の営みの中でふと口ずさんだとき、本当の価値が生まれるのではないかと思えます。応援ソング4曲は、長久手で日々暮らす方々の心がそのまま表されていて、本当に魅力的です。時間はかかっても途絶えることなく、一人でも多くの方々に口ずさんで、また、踊ってもらえるようになることを願ってやみません。



応募された市民合唱隊とcobaさん・バンドのメンバーがひとつになって熱気に満ちた演奏を披露



熱演するcobaさん

応援ソングは、7月14日に華々しく初演されて大成功を収め、テレビや新聞などでも大きく取り上げられました。本番前の合唱隊のリハーサルで、cobaさんは何度も「歌詞（言葉）の魅力を感じて唄ってください」と言われていました。

公演の一週間後には、文化の家ホームページで応援ソングの試聴と投票ができることになりました。約3カ月間にわたり人気投票が行われ、6000を越える投票から「クレーシガーナ」が一番人気となりました。みなさんからよく訊ねられることは「ほかの曲はどうなるの？」という質問です。cobaさんは言います「応援ソングは、長久手市のみなさんのものです。どのように愛していただくかは、お任せします」。

実は、人気投票は一人でも多くの方々に歌を知っていただくためのものだったので。そのなかで応援ソングを広めるための動きが自発的に始まりました。まだまだ小規模ですが、きっとcobaさんにとって何より大きな宝物だと思われたに違いありません。その証として、応援ソングに振付をつける提案をされたことは先回のコラムで書かせていただきました。

歌は、日々の営みの中でふと口ずさんだとき、本当の価値が生まれるのではないかと思えます。応援ソング4曲は、長久手で日々暮らす方々の心がそのまま表されていて、本当に魅力的です。時間はかかっても途絶えることなく、一人でも多くの方々に口ずさんで、また、踊ってもらえるようになることを願ってやみません。